

平成30年第6回大田市教育委員会定例会会議録

平成30年5月21日午後2時00分、大田市教育委員会事務局において、第6回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成30年5月21日 午後2時00分

閉 会 平成30年5月21日 午後3時15分

2. 出席委員の氏名

教育長 船木三紀夫

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島教育部長 森本総務課長 和田学校教育室長 和田学校教育室主査
田村学校給食センター長 霊山社会教育課長 遠藤石見银山課長
後藤人権推進課長 西村山村留学センター長 松本総務課長補佐

6. 開 会

船木教育長開会を告げ開会

(1) 第5回の会議録について

- 教育長 第5回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。
- 梅枝委員 15ページの私の発言で、上から5行目の文を「山留の事ではないのですが、入学式の延期等大変だったと思います。」と訂正してください。また15ページの上から12行目の私の発言を、「新入生は、入学早々校舎内の様子も分からず、避難訓練も未体験という中で余震が続いていた状況は学校として大変だったと思います。保護者の方々も不安な思いを持っていらっしゃると思います。各学校では、今回の地震発生後に、臨時で避難訓練を行うなどの対策をとられたところがあるのでしょうか。」と訂正してください。
- 教育長 15ページの上から11行目の私の発言を、「それぞれ対応してもらっています。」と訂正してください。
- 教育長 その他訂正箇所等ありませんか。
- 委員 (なし)
- 教育長 修正点を修正のうえで、第5回の会議録については承認とさせていただきます。

(2) 経過報告について

- 教育長 経過報告に入ります。先月は4月24日に定例教育委員会を開催しておりますので、それ以降について報告させていただきます。
- 25日政策企画会議、体育協会の評議員会総会が開催されました。
- 26日都市教育長会、市町村教育長会が松江で開催されました。議題の中で、教職員の人事権の話がありました。その内容については後程資料に基づいて説明させていただきます。
- 5月1日学校教育研究会研究集会が大田一中で開催されました。私と学校教育室が参加させていただきました。
- 2日島根県と地震災害意見交換が行われました。教育委員会関係課、島根県のそれぞれの関係課と、どのような支援ができるのか等災害について意見交換を行いました。
- 4日「ともにきたさんべ」が行われました。これは山村留学センターにおいて初めての開催となりました。経過については、山村留学の卒業生2名が北三瓶の地元青年と結婚され、お祝いの会を開いてはどうかという提案があったそうです。そういった中でそ

の方と、北三瓶にUIターンをして来られた方に、山村留学センターにお集まりいただき、お祝いの宴を開いたということです。これには市長、前市長も参加され、私、部長、山村留学センター長等が参加しております。本年の山村留学生は7名と寂しく思うところもありますが、山村留学が縁で、地元との交流等も深まっていると感じています。

7日給食会理事会が行われました。

8日伝統的建造物群保存地区保存審議会が開催されました。内容は現在大森地区では急傾斜ということで、崖地の工事が行われています。その工事が景観的にも普通の工事とは違うため、それらの景観に配慮した設計がなされているかの審議を行いました。また、大森では子どもが増えており、大森保育園の園舎が狭くなっています。待機児童が出ている状況もあり、地元で増築をしたいということで、学校の敷地を貸してほしいという内容や、町並み保存地区であり、景観に配慮した建物でなければいけないため、そのような内容の審議も行いました。

10日政策企画会議、定例校長会、県同和教育推進協議会総会が開催されました。

11日出雲人権擁護委員連絡協議会総会が開催されました。

12日大田市小学校連合運動会が開催されました。天気に恵まれ児童が一生懸命競技を行う姿を見させていただきました。

14日中学校教科書採択協議会が江津で開催されました。内容については後程報告させていただきます。

15日教育施策説明会、議会全員協議会が行われました。議会全員協議会については、この度の地震の対応、支援策等について協議を行いました。

16日クロカン実行委員会がございました。本年度については8月19日に開催されます。毎年暑い時期に開催しており、熱中症対策等があるため、今年度中に検討委員会を立ち上げ、開催の時期について協議を行うことにしています。

18日浜田教育事務所各学校訪問が開始されました。3日間に分けて学校訪問を行うことにしていますので、23日、29日の3日間で全小中学校を訪問する予定としています。教育事務所長と他私も参加し訪問を行っています。

19日退職校長園長会総会が行われました。

同日大田市中学校陸上競技大会が大田二中で行われました。朝は少し雨が降っていましたが、無事に終了しました。

2 1 日本日ですが、定例教育委員会です。

2 2 日以降の予定です。

2 2 日学校給食会評議委員会、市P連代議員会を開催する予定となっています。

2 4 日県租税教育推進協議会連合会定期総会が松江で開催される予定となっています。私が参加します。

2 5 日石見銀山街道国史跡指定記念式典が美郷町で開催される予定となっています。私が出席します。

2 8 日政策企画会議が行われる予定です。

3 0 日 3 1 日私と部長とで、学校長面接を行う予定です。

教育長
福間委員

報告は以上です。補足等ありますか。

先程説明のありました19日の大田市中学校陸上競技大会は、現在中体連の単独開催行事ではなく、従来から開催しておりました本年度第47回を迎えました大田市陸上競技大会（大田市教育委員会・大田市体育教協会共催）と併催の形を現在としています。

共催以前の大田市陸上競技大会の役員構成は若い人が少なく、高齢化となり退かれる方が年々増え、徐々に役員不足になりつつありましたし、参加する選手も大田市内の小中学生ばかりの大会になっていました。それでもなんとか小中学校の先生方の絶大なる協力のもとに開催がやっとできていました。また、中体連の陸上競技大会については近年、従来のように全校体制の参加ではなく、陸上競技部のみ参加形態（72/496人）となり参加者が減少してきました。参加選手が少なくても役員が多く必要な陸上競技ですから、結局学校側からの少ない参加生徒のために多くの先生方の役員を出せないという事になり、大会開催・運営が危ぶまれ、その二大会の実情を踏まえ併催の形をとらざるをえなくなったわけですが、はたしてこのままの状態での開催・運営でよいのか、懸念しているところです。何処かでこの大会の運営について検討する必要があると考えます。

教育長
委員
教育長

その他補足等ありますか。

（なし）

では経過報告については以上で承認ということに致します。

（3）議題

教育長 それでは議題に入りたいと思います。議題20号学校再編（児童・生徒数見込）について総務課から説明させていただきます。

学校再編については、平成29年度は主に保護者の方と意見交換会を行いました。本年度については、各地域に出向き、学校の在り方や、現在の状況等をお示しする中で、地域・保護者・学校の関係がさらに強化されることに移ろうとしている時期です。そのような意味合いも含め、地域として学校をどう考えているのか、地域の方と学校のためにはどうすればベストな状態なのか、子どもたちのためにどう思っているのかを、地域に出かけてそれぞれ意見交換を行いたいと思っています。昨年度の意見交換の保護者の意見等の内容を踏まえ、教育委員会として最終的にどのような形がベストであるかという筋道を立てて、今後の学校の在り方について進めていきたいと思っています。本日は児童・生徒数の見込について、今年度の実績を見る中で、若干今までと変わってくると思いますので、説明をさせていただきます。

森本課長 学校再編（児童・生徒数見込）について説明させていただきます。資料をご覧ください。考え方については昨年と同じです。

平成30年度以降小学校入学児童に特別支援学級児童は見込まないということで、全て通常学級で推計させていただきます。小学校1、2年生は30人学級編制、3から6年生は35人学級編制、中学校は35人学級編制を基準に、学級数を算出しています。島根県教育委員会学級編制基準に基づき、複式学級の組み合わせは、小学校1、2年生で8名以下、3から6年生は16名以下の場合、中学校については、全て単式学級の基準です。

山村留学生ですが、実態はここ数年減少してきていますが、この集計については元々の考え方から定員になるような形の見込みで、小学校4から6年生に各2名、中学校各学年に3名ずつという見込みを入れていますので、将来見込みについては実数よりも過剰な状況になっています。

もともとの出し方ですが、平成37年度以降小学校入学見込み数は、標準学級調べの手法によることとしています。過去4年の出生児増減割合をもとに市全体の出生児数を算出したものをベースにしています。また今後5年の当該学校への入学者の割合の平均値を算出しています。町で生まれた子どもさんがその町の学校にあがるということではなく、市全体として生まれた子どもさんが

この学校に行くというパーセンテージで算出しています。
考え方については昨年同様このような形で推計しています。

2ページをご覧ください。これが全体の流れになります。先ほどの出生の基準が、平成29年度見込数値よりも若干少なかったことから、全体的に減少傾向になっています。平成30年度においては、小学校11名、中学校7名トータル18名減となり、その後も減少が続き、昨年は平成40年が最後でしたが、トータル26名減少となっています。平成41年は平成40年よりも減少する見込みとなっており、小中学生の合計が2千人を割込むことも、そう遠くない将来起きてくる状況になっています。以下この集計表のベースになる資料が、3ページから14ページまで各年度毎の、各学校別の数字が記載してあります。この中で特筆すべきところは、3ページ、北三瓶小学校の今年度入学児童が0名となっていることについてです。入学児童がいない学校が少しずつ出て参ります。6ページをご覧ください。平成33年度志学小学校の入学者0名となっています。これは昨年の見込みでは入学者がいましたが、出生児の減少に伴い0名の見込みとなってしまいました。平成34年には池田小学校の入学者0名となっています。こうしたことがさらに影響を及ぼし、先々の各学年の児童数についても、減少傾向にあります。しかし一部小学校では、若干見込みよりも増加した年度もありました。また児童数の減少に伴い、学級数も若干減少するケースがありますが、大勢としては大きな変更はありません。1ページごとの細かな説明は割愛させていただきます。児童生徒数見込の説明は以上です。

教育長

ありがとうございました。これを見ますと小規模校は生徒数が増加見込である学校が数校見受けられますが、大規模校ほど児童の減少傾向にある様に見えます。大森小学校では先に保育園の待機児童の話もありましたとおり、平成36年度以降には現在の3倍の児童数が見込まれています。地域の取組や施策が影響してくる結果となっています。全体的には子どもの数は毎年減少して行き、このまま行けば11～12年後には2千人を割り込む見込みとなっていますが、この様にならないために大田市では総合戦略等でU,Iターンの施策を行っておりますので、その施策が功を奏して良い方へ変わってくれることを願って、市長部局とも連携を取り合いながら頑張っていきたいと思っています。各学校での意見交

換会には委員の皆さんにも参加をお願いしたいと思っています。
この件につきましてご意見、質問等ありますか。

竹下委員 説明は児童生徒数の推移の資料と、その他に説明会等で提示されるのでしょうか。

教育長 生徒の状況等とこれから大田市がしようとしている、新学習指導要領の中で学校運営協議会等地域を取り込んで学校運営等を行う、地域と保護者と学校三者で一緒になって学校運営等を行うことが今後求められてきています。その辺りを訴えながら学校として地域として、学校はどうあるべきかを本気で考えていこうということで、そのような制度の仕組みが徐々に変わってゆくことも説明しながら、行いたいと思っています。再編ありきではなく、意見を出し合う中で、一緒になって考える様にしたいと考えています。資料も使用ながら行う予定です。結果まとまりのない会議になってしまうかもしれませんが、お互いの意見を出し合うことが大事だと思っています。

川島部長 資料の訂正をします。3ページと20ページですが、北三瓶小学校の学級数2年生が空白になっていますが、1が入ります。よって北三瓶小合計クラス数が3、小学校2年生合計が17、全体計が96となります。20ページ平成30年2年に1が入り、合計3となります。

森本課長 先ほど出生児数ということで、平成29年度の基本数字が昨年228名生まれています。前年の推計上平成29年度出生児は239名を想定していました。約10名減少していることがきっかけで全体にさらに減少率が加速している状況です。

教育長 その他ご意見、質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 議題21号については準備が間に合わなかったため、次回の定例教委にて審議をしていただきたいと思います。

教育長 続きまして議題22号大田市社会教育委員（兼公民館運営審議会委員）の委嘱について社会教育課からお願いします。

霊山課長 社会教育委員（兼公民館運営審議会委員）の委嘱について説明させていただきます。資料をご覧ください。この社会教育委員の会の委員については、平成30年第1回教育委員会で承認をいただいたものです。今年度の人事異動、役員改正により、岩谷委員、

胡摩田委員、安藤委員の3名に、新たに社会教育委員をお願いするものです。委嘱については、平成30年5月22日から平成32年1月31日、前任者の残任期間を委嘱するものです。以上です。

教育長
委員
教育長
教育長

ありがとうございました。ご意見、質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については承認ということにいたします。

続きまして日程の5. その他報告事項です。6月補正について総務課からお願いします。

森本課長

6月補正予算について説明させていただきます。資料NO. 1をご覧ください。今回歳入として2件新たな財源確保ができ、それに伴い歳出で、教育委員会総務課で2事業、社会教育課で1事業、山村留学センターで1事業の、それぞれの補正予算を要求するものです。新たな歳入の1つは、地域創生推進交付金という名目の、国の交付金が採択されたため予算化しました。2つめは、学校現場における業務改善加速事業に、鳥根県と共同で申請を行っており、採択されたため予算化しました。

総務課の小中高魅力化推進事業の中に、先ほどの学校現場における業務改善加速事業を取り込み、2,000千円の増額要求を致すものです。

2ページをご覧ください。学校現場における業務改善加速事業実施による学校事務改善のイメージです。現在教員、事務職員、教育委員会職員が、学校事務の負担が大きなウエイトを占めています。このことで、教員においては事務量が増大し長時間勤務や、子どもと向き合う時間が不足している実態があります。事務職員についても、多量の事務の仕事を行っているため、前回規則改正を提案させていただきましたが、学校事務員ももっと学校運営に関わるべきだということで改正しましたが、なかなかそのような状況になっていません。これらを改善するために、事務事業の見直しも含め学校現場における業務改善を行う事業です。具体的には、学校事務の検討協議会で業務改善の内容について協議を行う中で、細かな学校事務については、最終的に共同学校事務室へ集約出来る形で整理をかけたいと考えています。この事業に対し、2,000千円の事業費で実施する補正をお願いさせていただきます。

2点目地域創生推進交付金についてです。島根県内で14の市町村が教育魅力化事業に取り組むということで、合同で国に申請していたものが採択されたものです。教育魅力化に繋がる事業それぞれに財源として充てられるということで、本市においては、小中学校教育魅力化コーディネーター配置事業ということで、原田統括プロデューサーの経費について、半分は県費で補助していただいておりますが、残る半分の内のさらに半分をこの地域創生推進交付金をあてさせていただくことの財源組替です。

また社会教育課予算で本因坊道策顕彰等囲碁振興事業についても、地域にあるものを活かした魅力ある事業で、全体事業費1,000千円の内半分が国費で賄えることでの、財源組替の補正をお願いするものです。

山村留学推進事業についても、島根県全体で行っているしまね留学の中の位置づけで、同方向の事業という事で地域創生推進交付金をあてさせていただき、補正を組むものです。なおこれにより、これまで市債で賄う予定であった部分が減額となり、国県の補助と、若干一般財源が出ますがそのような形の組替をお願いするものです。以上です。

川島部長

補足をさせていただきます。この事業の事務改善の目的ですが、教職員の働き方改革をはかると共に、教育の質の向上、教育の魅力化にしっかり向けていくための事業です。内容については資料に記載してある、業務改善ポリシーや勤務実態把握等ありますが、具体的には勤務実態把握のためのタイムカードの導入や、業務改善のためのアドバイザー、事務補助スタッフ等に入っただき、専属で事務改善に向けての取りまとめをしていただきます。今年度秋には取りまとめをし、来年度春からの具体的な共同学校事務室の設置に向け、動き出そうという取り組みです。それに対し、人件費等で2,000千円必要となる事業です。

教育長
委員
教育長
教育長
森本課長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については承認ということにいたします。

続きまして災害被災者への支援について総務課からお願いします。災害被災者への支援について報告させていただきます。今回の地震の被害者の内、教育委員会関係の皆様に対しどのような支援が出来るのか協議をしてまいりました。資料をご覧ください。大田

市地震被災園児・児童・生徒支援金支給要綱という新たな制度を立ち上げたものです。この制度については、今回の地震により被災した園児・児童・生徒に対する生活再建のための支援金支給を行うものです。2ページをご覧ください。支援の内容は3点あります。

1点目学用品費の支給です。今回の地震被害で全壊の児童については一人につき4万円、生徒については一人につき4万6千円、大規模半壊、半壊の児童については一人につき2万円、生徒については一人につき2万3千円を支給します。なおこれについては、既に年度が始まる前に小学校入学の就学援助対象の児童については、学用品費について既に支給していますが、重ねて対象者については支給を予定しています。

2点目給食費の支給です。園児・児童・生徒が対象で、全壊の園児・児童・生徒については全額を免除します。大規模半壊、半壊の園児・児童・生徒については半額を免除します。

3点通学費の支給です。今回の被災では、自宅が使えなくなり避難を一時的にされた方もおられたようですが、そういった場合に学校への通学距離が延び、通学費用が増大した場合に交通機関を利用する経費について補助を予定しています。現状で確認したところ、実際に避難が継続している方はおられない状況で、制度は作りましたが、通学費については対象者がいない状況も想定されます。また高校の生徒についても、基本的には対象とします。大田高校、遼摩高校に問い合わせをしましたが、対象になるような生徒さんはおられないと確認しています。今日までに、全壊、半壊、罹災証明書の発行で対象となる児童の世帯が3世帯あります。中学生2名小学生2名の3世帯4名が対象となります。今後さらに罹災証明書の発行が続けば、もう少し対象が広がる可能性があります。また、今回資料をお配りしていませんが、幼稚園の保育料については、もともと制度として減免の規程があります。今回の地震で被災された方についても、その減免の規程を利用し、免除・減免を行う予定です。以上です。

教育長
委員
教育長
教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については承認ということにいたします。

続きまして全国学力調査について学校教育室からお願いします。

和田室長 全国学力調査について報告させていただきます。延期していた学力調査ですが、予定通り4月26日に12校、4月27日に9校、5月9日に1校、全22校が予定通り調査を終了しました。5月9日に行った大田二中以外の21校については、5月1日時点で文科省へ解答用紙を全て回収していただきました。大田二中については、実施日が5月1日以降になったため、回収はされていません。ですので、大田二中を除く21校は、今後他の学校と同じように文科省で集計をしていただきます。各校の結果は、7月にそれぞれの学校に送付されることになっています。その結果を受けて本年度の状況をお知らせしたいと思います。なお大田市の結果は大田二中が含まれていないことと、実施時期をずらした関係で県の平均には含まれないそうです。ただし、大田市21校分の平均は大田市の平均として出していただけるそうです。それぞれの学校には現在、自校採点をしていただくようお願いをしています。以上です。

教育長 ありがとうございます。ご質問等ありますか。

教育長 結果は、7月のいつ頃に返ってきますか。

和田室長 7月中旬頃です。

教育長 その他ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 続きまして社会教育の方針と事業について社会教育課からお願いします。

霊山課長 社会教育の方針と事業について報告させていただきます。毎年度策定をしているもので、例年と変わっている箇所について説明をさせていただきます。資料3ページをご覧ください。大田市教育ビジョン基本構想と教育の魅力化について、総務課より説明します。

森本課長 資料をご覧ください。大田市教育ビジョン基本構想と教育の魅力化について説明させていただきます。5ページには大田市教育ビジョンの基本構想図を記載しています。6ページには教育の魅力化についての資料を記載しています。1点目が、県が進める「教育の魅力化」の論点整理です。1つ目が島根の子どもたちに身につけてもらいたい力という整理を県は行っています。学力の3要素、「知識・技能・思考力・判断力・表現力・意欲・態度」これ

らをバランスよく身に付けるといふ新たな学力観に立脚し、本物の「生きる力」を育成することが基本理念という整理がされています。2点目が、島根らしい教育の魅力です。多様な個性のある児童生徒一人ひとりと丁寧に向き合い、地域社会で理念を共有し、学校・家庭・地域の連携の中で実現するという整理がされています。3点目が、教育と地域づくりの関係です。学校・地域・家庭と連携をとる中で、地域の力や魅力をアップさせることで、地域づくりをさらに進めていきたいという整理がされています。

これらを受け、大田市としての取り組みということで、前段ではこれまでの経過を書き上げています。平成28年度、29年度はここに書き上げたような形で進めさせていただきました。今年度は、教育委員会内に教育魅力化推進係を設置いただきましたので、それをベースに、これまで取り組んできたことをさらに発展的に進めていきたいと思っています。県の「学校・家庭・地域の連携」について大田市も同じように、「学校・家庭・地域が連携・協働し、地域総がかりで子どもたちの育ちを支える教育環境を整備することで、大田で育つ子どもたちに本物の生きる力を育成する取組」を行うこととしています。3点目の社会教育と「教育の魅力化」について社会教育課から説明します。

霊山課長

教育の魅力化については、教育ビジョンを受け、魅力化についての社会教育の魅力化との関わりということで、人づくりを目的として昨年度からあげています。今年度より社会教育主事が2名体制になりました。社会教育主事が主体的に関わり、「持続可能な社会を担う人づくり」の実現へ寄与するものと考えています。

個別の事業を記載しています、22ページをご覧ください。公民館事業をあげています。昨年度より特色ある事業ということで、公民館合同講座を5つの公民館により、昨年世界遺産登録10周年を迎えた「石見銀山遺跡と、その文化的景観」をテーマにした連続講座を実施したところ、好評を得ました。今年度についても、歴史をテーマにし、複数の館で合同事業を行う予定としています。資料に6館合同となっていますが、未定です。

もう一つの事業が「赤ちゃんふれあい体験事業」です。これについては、健康増進課から市公連への委託事業で取り組むものです。なかなか他市に無い事業ということで、命の大切さ等を、小中学生を対象に事業を行います。今年度の詳細については、公民館と、

各学校とで相談をして進めていきたいと思っています。

23ページをご覧ください。7館の公民館の事業を記載しています。今年度から公民館管内の、町ごとの世帯数・人口、持続可能なまちづくりの事業については、写真をつけて掲載しています。なお、分野方針の花マークがついているものは、公民館の合同講座です。こういった形で24ページ以降についても、各館の合同事業については花マークをつけて掲載しています。その他の事業については、特に大きく変わっている点はありませんので、割愛させていただきます。

本日の報告の後、6月には印刷し、来月の教育委員会で資料を添付し配布をさせていただきます。以上です。

教育長
委員
教育長
教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については承認ということにいたします。

霊山課長

続きまして大田市公民館運営委員会委員の委嘱について社会教育課からお願いします。

大田市公民館運営委員会委員の委嘱について報告させていただきます。先月の第5回の会議で承認をいただいておりますが、今回はまちづくりセンター自治会関係で変更、就任した方について報告させていただきます。資料をご覧ください。中央公民館運営委員についてです。網掛けをしている方が新たに委嘱された方です。久利まちづくりセンター長が追加で委嘱されます。次ページをご覧ください。東部公民館運営委員会委員です。朝山、富山、波根の各自治会連合会との代表が変更になったことにより、委嘱をするものです。なお今回の委嘱により7公民館で合計98名の委員構成となります。以上です。

教育長
委員
教育長
教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については承認ということにいたします。

霊山課長

続きまして第2期 芸術文化振興計画の策定について社会教育課からお願いします。

第2期芸術文化振興計画の策定について報告させていただきます。資料をご覧ください。平成29年の第8回の定例教育委員会で進め方、位置づけについて説明をさせていただきました。1期目が平成20年から平成29年までの計画でした。総合計画の部門計

画として位置付け、芸術文化振興計画に沿って実施して来ました。改定の趣旨については資料の通りです。

位置づけについては、大田市教育ビジョンに描かれた方針を基礎とし、本市の芸術文化振興に関する計画として改訂するものです。計画の期間は、1期と同様10年間、平成30年から度から平成39年度までとします。なお社会情勢が変化することから、3年毎に事業評価と見直しを行い、最終年に次期計画に向けて改訂を行います。

平成29年の第8回の定例教育委員会で説明しましたが、ワーキング会議を設け、担い手の方の意見を聞きながら策定を行うとしていました。ワーキング会議メンバーということで、写真や音楽等11名のワーキングメンバーにご参画いただき、合計5回ワーキング会議を開催し、素案を作成するものです。

スケジュールについては本日報告をした後、パブリックコメントを実施します。パブリックコメントについては準備ができ次第、各教育委員の皆様にも送付させていただき、意見があればご指摘をいただきたいと思っております。そして来月の教育委員会で提案をし、承認をいただきたいと思っております。

裏面をご覧ください。第2期計画の概要についてです。第1期計画の課題については、市民会館のリニューアル、世界遺産センターの開設等ハード事業も計画をしていましたが、第2期計画については、ソフト事業を重点的に実施したいと思っております。課題のアウトリーチ事業については、本物の芸術文化、専門の市民会館等でご覧いただくことが出来ない方に対し、各地域に出向き芸術を提供するというものです。ネットワークの構築については、芸術文化の担い手等の連携、または各地で行われている文化祭等の情報、横の繋がりについて課題がありました。そしてそういった意見をいただく機関が無かったという事で、そういった組織の設置、世界遺産登録の石見銀山遺跡について、石見銀山遺跡を除く文化財や民俗芸能の調査や保存措置、こういったものへの取組をさらに行うことが課題に挙がったものです。

第2期計画についてです。基本理念は継続です。

基本目標は教育ビジョンにも掲げていますが、ユネスコの精神を基礎とし、芸術文化をとおして心豊かに暮らせるまちの実現です。基本方針については、3点あげています。

要旨については、5点あげています。1点目、ソフト事業・アウトリーチ事業を拡充し、市民の方にお届しご覧いただきたいと思っています。

2点目、芸術文化活動を行うためには資金が必要です。文化ファンド等様々な助成金の情報がありますが、こういったものを取りまとめ、こういった事業にはこういった助成金がありますという情報の提供、配信を行っていきたいと思います。3点目、芸術文化の担い手ということで、現在活動している芸術文化の担い手の繋がり作りを行うというものです。これについては文化協会、そして文化プロデューサーというのは、市民会館が改修をしていたころからの平成24・25年度、こういった文化事業をプロデュースする事業を実施し、約40名の方が受講しておられます。こういった方の活動支援、参画をいただくことを要旨とするものです。4点目、芸術文化振興委員会を設置し、意見をいただくものです。第1期・第2期の計画については、社会教育委員の会を芸術文化振興計画策定講和会として、意見をいただいたものですが、さらに芸術文化振興委員会を設置し、計画の振興について意見をいただくものです。

5点目、課題でありました、石見銀山遺跡を除く文化財・民族芸能に対する調査や保存措置を官民協働で行うものです。文化財の保存団体、文化協会、関係される方と共に調査保存措置を行うものです。以上のような概要ですが、こういった内容を第2期大田市芸術文化振興計画の案として、議員の皆様にご覧いただき、ご意見をいただければと思います。以上です。

教育長
仲野委員

ありがとうございます。ご質問等ありますか。

課題や要旨の部分で、石見銀山遺跡を除く文化財・民俗芸能とありますが、文化財や民俗芸能だけでなく、美術工芸品等もあると、地元の著名な作家もおられるので、そのような視点も入れていただきたいです。

霊山課長
教育長
福間委員

はい、ありがとうございます。

その他ご質問等ありますか。

学校の魅力化について、考えていただきたい検討事項があります。子どもが減少していく中で、大田市に当てはまるかわかりませんが、全国的に子どもの貧困が言われています。そういった状況において、大田市の魅力化に位置づけて子どもの貧困の取り組みが

どのようになっていて現状はどうであるか、これからどう取り組むべきか等をどこかで話し合う予定はありますか。

教育長 子どもの貧困については、市長も大変懸念をされており、貧困は学習の差別等にも繋がってはいけないと思います。しかし貧困の把握がなかなか出来ないという実態もあります。民生関係でも子どもの貧困について議論を行いました。実態把握が難しいです。その辺りを様々な機関が協議をしながら行っていかなければならないという話が出ています。これから子どもの貧困についても活動をしていこうと思っておりますので、教育委員会だけでは解決できないので、市長部局とも十分協議をしたいと思っております。

福間委員 前例がないのでどうしても一步遅れて、取り組みが難しい問題だと思いますが、大田市の状況を早めに把握し、大田市独自性の取り組みを作り出していくことが大事だと思います。

教育長 貧困と外国人の関係について、県の方も来年度に向けて対策をとって行く方向に向いています。また議論をさせていただければと思いますので、教育委員会の中でも議題として議論を行う方向です。よろしくお願いします。

教育長 その他ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 それでは、議題等は全て終了致しました。次回の定例会は6月28日です。よろしくお願いします。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成30年6月28日

作成者 総務課長補佐 松本朱美

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成30年6月28日

教育長 船木三紀夫

委員 竹下 ちとせ

委員 伴野 義文

委員 梶 伸光

委員 梅枝 奈保美

委員 福岡 信隆

英瑞三木全

○

○